



首里城公園

日影台（日時計）解説会

琉球王国時代、首里城の時を刻んだ日影台（日時計）の解説会を行います。

2024年 6月21日(金・夏至), 22日(土), 23日(日)

9月20日(金), 21日(土), 22日(日・秋分)

12月20日(金), 21日(土・冬至), 22日(日)

2025年 3月20日(木・春分), 22日(土), 23日(日)

①10:20～ ②12:20～

(30分間 随時解説 ※所要時間5分程度)

※広福門前、日影台近く。参加費は無料です



広福門



日影台

日影台（日時計）は、水時計の補助的な道具として使われ、十二支の刻まれた時刻版（石の円盤）に銅製の棒が取り付けられ、その日陰によって時刻を計ったと推測されています。日影台の時刻計測システムは、二十四節気によって傾斜角度を変えないと時刻が正確に計れないため、節気ごとに時刻版を変更します。現在の首里城公園では、春分・秋分・夏至・冬至の年4回変更しています。



【お問い合わせ】首里城公園管理センター〔広報企画展示係〕

TEL 098-886-2020【受付時間 9:00～18:00】

